



発行：高野口小学校学校運営協議会（高野口小学校内）42-2061

猛暑、酷暑、危険な暑さ等、暑い夏を振り返る言葉はつきません。今年も本当に暑い夏でした。さらに、宮崎で起こった地震から南海トラフ地震の注意が出され、お盆もなかなか気持ちがゆっくりとできなかつたご家庭も多かったのではないのでしょうか。しかしながらこの夏、フランス・パリを中心にオリンピックが開催され、日本の活躍が顕著に感じられた大会となりました。多くの感動を与えてくれた選手の皆さんに感謝です。夢や目標をもって努力することの大切さを学ぶことができたことだと思います。夏休みが終わった今だからこそ、心機一転自分の好きな新しいことを見つけ、夢や目標に向かって頑張る子供たちが増えてほしいと願っています。

## 高野口中学校区小中合同研修会

8月7日、高野口中学校区の小中学校の先生と各校の学校運営協議会委員の方が一堂に会し、合同研修会を開催しました。学校運営協議会委員さんの自己紹介の後、各学校の学校運営方針についての説明が行われ、高野口中学校区の子供たちの9年間の学びの流れを小グループに分かれ話し合いました。同じ中学校区にいてもなかなかゆっくり話をする機会のない先生たちです、今回の合同研修で学校運営協議員さんも一緒に高野口で育てていきたい子供の姿を皆で話し合えたことはとてもよい研修会となりました。

### 【先生からの感想です】

どの学校でも同じような課題を抱えており、それを共有し、今後どうしていくべきなのかを話し合うことができました。9年間を通して、地域の中で子どもたちを育てていくことは大事と分かっているにもかかわらず機会がありませんが、今回のように、3校の先生方や、学校運営協議会の方々と交流し、繋がりを作ることができとてもよかったです。



## “竹水鉄砲”を作りました

8月9日、子どもと地域をつなぐ体験活動第2弾として、運営協議会自然部会による木工教室を開催。参加児童8名と大人5名が、以下の工程で竹水鉄砲を作りました。

- 1 太めの竹を、片方の節を残してノコギリで切る。
- 2 残した節の側面にキリで穴を開ける。
- 3 細めの竹に針金・ビニルテープを使って布をしっかり巻き付けた「押し棒」を作る。

作業自体はそんなに難しくないのでありますが、竹の状態(まっすぐであるかどうか)などによって出来上がりに差が出ます。「工夫を凝らして自分だけの作品を作る」のが手作りの醍醐味とはいえ、早々と作り上げた水鉄砲で遊ぶ友達の姿を尻目に何回も作り直すのはつらいもの。でも、「僕、こういうふうにしたらよく飛んだよ」とのアドバイスにも助けられ、全員完成にこぎつけました。優しいミニ先生のおかげでもう一つ、手作り体験の良さを味わうことができました。

高野口小学校では、日頃からアウトプット(学んだことを活用する・発信する)を大事にした授業を展開されているとのこと。その成果の一端が見えたように思いました。

高野口小学校運営協議会

